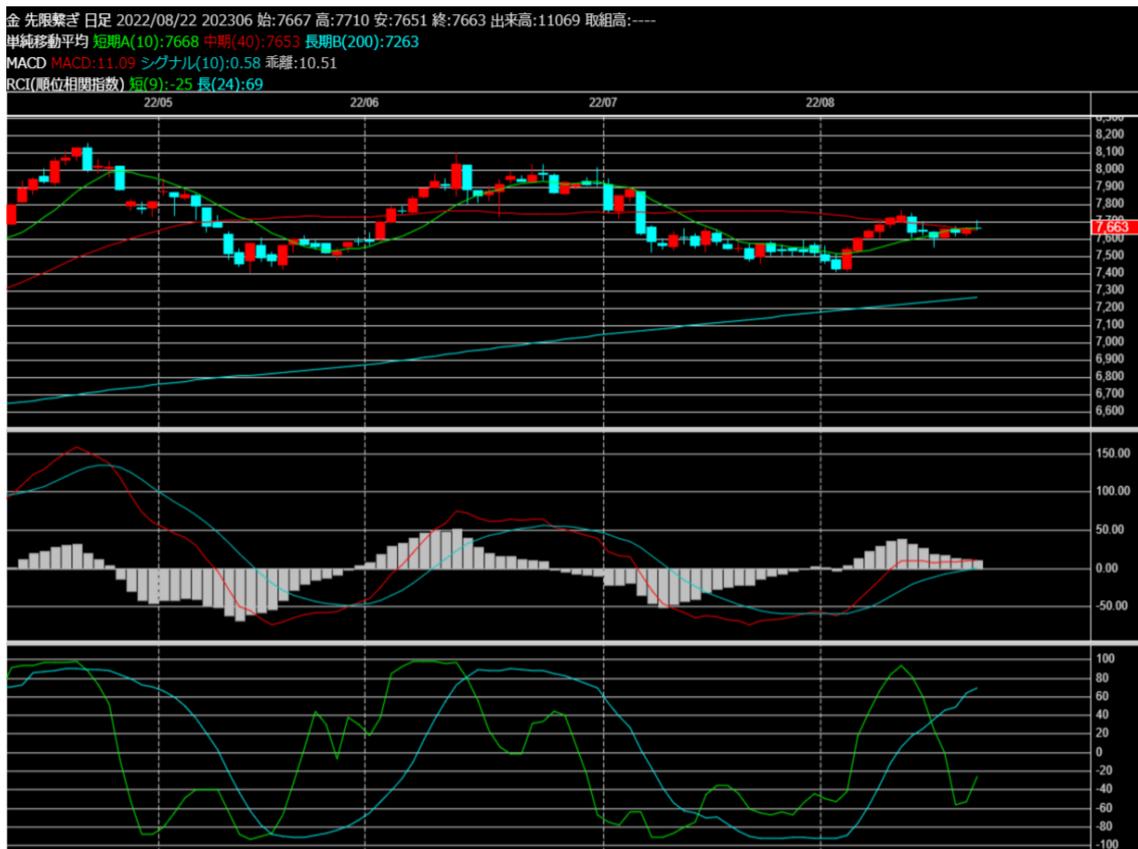


## <金標準先物、ドル高：円安をベースに 7800 円へ・・・>



(出所：オアシス)

中国の小売売上高、鋳工業生産が低下、NY 連銀製造業景況指数が-31.3 と大幅低下を示し、インフレ高の悪影響が示された事から、インフレ抑制の動きを強めて金利上昇からドル高の動きが強まっている。特に今週 25 日から 27 日開催の FRB 年次総会で 26 日にジャクソンホールでパウエル FRB 議長が講演を行うが、ブラード・セントルイス連銀総裁は 9 月の FOMC で 0.75%の利上げに言及、ジョージ・カンザスシティ連銀総裁は慎重に対応を示唆、ディリー・サンフランシスコ連銀総裁は 0.5%~0.75%はオープンだと言及するなど、経済指標次第で 0.75%もあり得る動きを見せている。また需要ではスイス関税局によると中国の 7 月は 80 トンを輸入しており、6 月の倍、5 月の 8 倍となるなど需要が改善を示している。そのため 26 日まではドル高：円安がベースとなり、NY 金は下値追いの雰囲気強いが、円建ての金標準先物は 7700 円を試しながら 10 日の高値 7773 円を試す可能性は高いと予想される。

### <テクニカル>

金標準先物の日足を MACD と RCI で見ると、MACD では **MACD** と **シグナル** が切り上げながら、RCI でも **短期** が反転し、**長期** は上昇を続けるなどオシレーターは強気の姿勢を示唆している。特に日足が **10 日移動平均線** の上昇を維持しながら **40 日移動平均線** を上回るなどゴールデックロスが発生しており、7773 円狙いの値動きに思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 1,843,000 円(2022 年 8 月 22 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 36,080 円(2022 年 8 月 22 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-3249-8827 (受付時間:平日 8:30~17:30)  
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター  
<https://www.nisshokyo.or.jp>